※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『新編　現代の国語』　（大修館書店）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、社会で豊かに生きていくために必要な言葉の力を高めることを目標としています。言葉を使って考え、共感し合い、伝え合う力を伸ばすために、「話す」「聞く」「読む」「書く」をバランス良く学習していきます。言葉を意識して使う練習を重ねることで、日常生活の中で自信を持って言葉を使えるようになりましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとするとともに、生涯にわたって読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	発想の技術を身につけよう ［教材］ 巻末資料「発想法・思考法」	a： ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にしている。 c：進んで自身の考えを言葉にし、学習課題に沿って思考を広げる努力をしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	漢字学習のコツを身につけよう ［教材］ プリント教材	a： ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な漢字と語句の量を増すとともに，漢字、語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 話／聞 ］：場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：進んで漢字の成り立ちについて調べ、他者にわかりやすいように工夫して説明しようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	言葉の学習について考えよう ［教材］ p.12「変わる」ことを楽しもう p.16 コミュニケーションは技術だ	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組み、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	話すためのトレーニングをしよう ［教材］ p.20 ことばの準備体操	a：・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［ 話／聞 ］： ・話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：発音や発声、速度を意識して、伝わりやすい話し方で話そうとしている。	ワークシート	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

言葉を効果的に使い分けよう ［教材］ p.20 ことばの準備体操 p.24 ことばの使い分け	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：場面に応じた言葉の使い分けの学習に積極的に取り組もうとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
正しく、読みやすい文を書こう ［教材］ p.28 正しく書こう p.32 文を整え、文をつなぐ	a： ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b［ 書 ］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：正しい表記や、文をわかりやすく整えたり文を適切につないだりすることに興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
残暑見舞いを書こう ［教材］ 日本郵便「手紙の書き方」冊子教材	a： ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b［ 書 ］：読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫している。 c：手紙の書き方について理解し、進んで学習に取り組もうとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
説明のしかたをとらえよう （抽象と具体、対比、並列） ［教材］ p.46 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか／p48.ナンバーワンか、オンリーワンか	a： ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［ 読 ］：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：説明的な文章を、順序や接続表現、論理展開に注意して読もうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	対話する力を高めよう ［教材］ p.120 対話のレッスン p.124 テーマを決めて話し合おう	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[話／聞]:論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 c:相手や場面を意識しながら対話に取り組もうとし、よりよい話し合いになるように意識して行動している。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	論理の展開を読み取ろう p.86 オカピの胃袋はいくつか p.89 商品と贈り物の違い p.93 水の東西	a: ・推論の仕方を理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 c:説明的な文章を、表現の工夫や論理展開に注意して読もうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	意見文を書こう p.136 意見文の基礎を学ぼう p.140 反対意見を想定した意見文を書こう	a: ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論のしかたを理解し使っている。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c:意見文を書く練習に進んで取り組み、より説得力のある意見文を書こうとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	情報活用能力を高めよう P154 情報を吟味しながら読もう P156 情報の力関係 P176 メディアとの付き合い方	a: ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[読]:目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:意見文を書く練習に進んで取り組み、より説得力のある意見文を書こうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	プレゼンテーションをしよう P186 プレゼンテーションをしよう	a: ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b[話／聞]:集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動を通して、資料の活用方法について工夫している。 c:プレゼンテーションをすることに前向きに取り組み、構成や発表のしかたを工夫しようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　２０　）時間